

介護チーフ

藤原 亮太
RYOTA FUJIWARA

趣味 マラソン（自己ベスト2時間54分）
特技 ハンドボール投げ（最高40メートル）
オフタイム 愛娘と一緒に過ごしています。



【私のポリシー】

ケアワーカーという仕事はご利用者と一番近い距離にいます。どの業種よりも気付きに敏感である必要があると思います。訴えに耳を傾ける事や、ご利用者の普段とは違った様子にいち早く気付けるように努めています。ご利用者、職員がより良く生活、仕事を出来る環境作りを心掛けています。

【ご利用者との関わり】

自分達の大先輩にあたるご利用者と関わらせてもらっていることは貴重な時間で、日々多くの事を学ばせてもらっています。その方のこれまで歩んできた人生や、その人らしさを尊重したケアが出来るよう自分自身も毎日を大切にしていきたいと思っています。過去を振り返った時に、沢山の思い出話を職員で共有出来るよう1日1日過ごしていきたいと思っています。

スタッフ紹介

HELLO STAFF



【ひとこと】

現在のコロナ禍において、今まで当たり前に出来ていた事が出来なくなり、日々の生活に物足りなさを感じているご利用者も多いと思います。新たなスタンダードを創り出し、質の高い当たり前の実現に向けて考えていきたいと思っています。



（生活相談員 竹本菜名）

昨年のクリスマス会は新型コロナウィルスの影響により、密を避けるため規模を縮小した内容となりましたが、無事に開催することが出来ました。各階フロアには大きなクリスマスツリーを飾り、パーティーが始まりました。皆様大きなラッピング袋を抱えながらとても喜ばれ、職員もご利用者の笑顔を沢山見ることができ、とても素敵な時間となりました。

清華苑のトピック

SEIKAEN TOPICS



新年明けましておめでとうござい
ます。

皆様にとって、穏やかで希望を持てる年であってほしいと願つております。

新型コロナウィルス感染症により
様々な感染対策を行うようになり一年
が過ぎていき、私たちの生活が一変し
ました。

季節の行事やお祭りも旅行も友達と
会う機会も全てにおいて中止や制限が
あり、余暇を奪われた形の生活に疲れ
ていませんか？感染への懸念から不安
や恐怖、不眠など身心に様々な影響を
及ぼしかねません。



事務員
山本 水穂
MIZUHO YAMAMOTO

趣味 義母と晩酌
特技 ソフトテニス
オフタイム 晩御飯のおかずを作ったり、
子供達と遊ぶこと

【私のポリシー】

学生時代の部活動を通して、「不屈の闘志、不断の努力」という言葉を大切にしています。私は不器用なので、どんなことに対しても諦めずコツコツ努力を積み重ね、目標を達成させたいと思っています。

【ご利用者との関わり】

直接関わる事は少ないですが、ご家族からの電話対応や来苑された時、「いつも明るく笑顔を」を心掛けています。

【ひとこと】

私には3歳と6歳のやんちゃな息子がいます。育児で気持ちが沈んでも、清華苑に来ると元気を貰えます。縁の下の力持ちになれるよう、努めたいと思います。



（看護主任 大島 さおり）

昨年のクリスマス会は新型コロナウィルスの影響により、密を避けるため規模を縮小した内容となりましたが、無事に開催することが出来ました。各階フロアには大きなクリスマスツリーを飾り、パーティーが始まりました。皆様大きなラッピング袋を抱えながらとても喜ばれ、職員もご利用者の笑顔を沢山見ることができ、とても素敵な時間となりました。

医務室だより

NURSE LETTER



を考えない、ゆっくり入浴する、音
楽や映画鑑賞など自分に合ったもの、
心地良いと思うことをして楽しむ、そ
のような小さな楽しみを見つけるとい
うはどうでしょうか？

コロナ禍において、悪い事だけでは
なく、大切な人を守るために優しさや
絆。感染症と共に生していくための術を
身に付け自分自身が健やかでいる事、
誰もが皆、同じ境遇です。疲れたたら寝
れたと書いていいのですよ。お互いを
思いやり、いつか収束することを願つ
て、前へ進んでいきましょう。

（看護主任 大島 さおり）

マスクをしていても笑顔を届ける！

私は高校卒業後、右も左も分からぬまま介護の世界に飛び込みました。きっかけは、同じ清華苑で介護員をしている母の存在でした。

最初は母と同じ仕事をする事に少し恥ずかしさを感じることもありましたが、些細なことで話すことが出来たり、相談に乗ってもらう機会も増え、気付けば以前より母と会話することが増えました。正直な所、体力的にもきついと思うことがあります、重度のご利用者や認知症のご利用者の対応に苦戦することも多く、辞めたいくらいのことも少なくありませんでした。

しかし、日を重ねることに、同僚との関わりやご利用者の関わり方を学び、誰とでも笑顔で接する事が出来るようになり、仕事に対する思いが変わっていったことを覚えています。

先日、5年目の職員を対象とした研修に参加しました。長いようであつたこの5年を振り返りました。この5年で成長したと思える点もあればまだだだと思つ点も多くあります。研修では同期職員全員が集まり、仕事に対する思いや日々感じている課題や悩みについて話し合う事ができとても貴重な時間でした。

最近の自分を思い返すと、ご利用者のケアにつ

いて考えたり、後輩から相談を受けることもあります、その悩みについて考える事が多く、自分が抱える悩みについて考える時間があまりない事に気が付きました。研修を通して、悩みの解決に繋がる話し合いが出来た事、前向きな姿勢になれ事が私にとってとてもプラスになりました。

現在、新型コロナウィルスの流行に伴い、ご利用者の生活にも職員の生活にも自由が限られた状態となっています。昨年までは想像もしていましたが、今はマスク越しである為、表情が分かりづらいため、ご利用者に笑顔を届けるという事をです。今まででは沢山のご利用者、ご家族、周りの職員からも笑顔を褒めて頂くことがありました

が、今はマスク越しである為、表情が分かりづらいため、ご利用者に笑顔を届けるという事をです。今まででは沢山のご利用者、ご家族、周りの職員からも笑顔を褒めて頂くよう、まずは自分が明るく笑顔で過ごす事を日々心掛けています。こんな今だからこそ出来る事を考えて、これからも頑張っていきたいと思います。

（介護員 久保田千里）

STAFF VOICE

スタッフボイス

特別養護老人ホーム 清華苑

介護、看護、相談員、調理、事務、それぞれの部署で働くスタッフの生の声をご紹介します。



「利用者との出会いに学ぶ

私が清華苑へ入職して10年近くの月日が経ちました。その中で様々なご利用者との出会いと別れがありました。その中でも印象に残っている2つのエピソードを紹介します。

1つ目は、K様の排泄介助です。私が入職して間もない頃です。K様は排泄介助を行う時に独自の排泄手順やこだわりがあり、なかなか新入職員は排泄介助をさせてもらえない方でした。例の「とく、私も拒否されました。どうしたらK様に受け入れてもらえるのか」先輩職員が対応しているのを見ていたり、気を付けていました。M様は、納涼祭が好きだったM様との思い出です。M様は毎年夏が来ると「もうすぐ祭りやな」と納涼祭を心待ちにされておりました。納涼祭の前になると、「兄ちゃん、懇親会いから窓まで連れて行って」と言わされ、居室の窓から櫻と提灯を眺められ、とても喜んでおられました。

M様は、100歳を過ぎても半被を着て、納涼祭には必ず参加していました。納涼祭が終わる、居室に戻る前に「また来年やな」と言われるので、その姿がとても印象的で、M様にとって納涼祭が来年の楽しみになっていた事を私も嬉しく思いました。大変だったけれど来年も納涼祭を見て頂きたい、また頑張ろうと思いました。毎年納涼祭の時期になると、M様と一緒に櫻を見に行っていたなあと思い出します。

昨年の納涼祭は、残念ながらコロナの影響で中止となってしまいましたが、今年は納涼祭を楽しんでおられるご利用者の為にも、コロナが収束している事を願いたいと思います。

（介護員 江島祐介）



※エピソードに紹介されているご利用者と写真に映られているご利用者は別の方で関係はありません。

特別養護老人ホーム 清華苑では 毎日たくさんのえがおの芽が咲いています!



総務部長 田村智之のコラムコーナー

「脱ハン」から学ぶシャチハタ株式会社の姿勢

「ロナ禍の中、テレワークの普及を阻害する一因として日本のハンコ文化が今問われているわけですが、『脱ハンコ』は私たちの仕事にも大きな影響を及ぼします。国も『脱ハンコ』の動きに力を入れているようで、介護業界でもご利用やご家族と交わす文書や行政に届け出る各種文書のハンコも不要になるや否やという情報が舞い込んできています。

少し話を変えますが、社会人であれば多くの方が自分のハンコを持ち、押印した回数は数えきれないという方も多いと思います。ハンコには様々なタイプのものがありますが、特に重宝されているのは認印として使っている人も多い朱肉不要のインク浸透タイプのハンコ「シャチハタ」ではないでしょうか。実はこれは製品名ではなく、シャチハタ株式会社の社名が代名詞として広まつたもので、正式名称は「Xスタンパー」だそうです。（私も知りませんでした。）

1925年に創業、100年近くの歴史を誇る老舗企業ながら、ITの先を見据えていち早く動く姿勢は見習わなければなりません。我々介護・福祉業界もこれから様々な変化が訪れます。これまで今は異なる「当たり前」がありました。「次の時代への危機感」は業界に関係なく持ち続けるべきではないでしょうか。そもそも「介護保険制度」は約20年前に始まったばかりです。それまでは「甘んじることなく、次の時代に備えて、いち早く行動できる法人でありたい」と思います。そして、その一步一歩が地域の皆様への信頼と安心につながると信じています。

※正式な社名表記は「シャチハタ」ではなく「シャチハタ」です。見た目の文字のバランスを考えて「ヤ」ではなく「ヤ」を使ったそうです。ちなみに「シャチ」は名古屋城の金のしゃちほこに由来しています。

（総務部長 田村智之）



シャチハタの初代ロゴマーク。
出典：シャチハタ提供

